

産業技術センターの 活用方法をご提案します

令和6年度 活動成果発表会

企業の皆さまに産業技術センターの活動を知っていただき **“もっと”** 活用していただくために「活動成果発表会」を開催し、当センターの重点事業や研究成果、人材育成、技術支援の事例を紹介します。

本年度は、時間に縛られず、何度でも聴講いただけるよう、**発表動画を一定期間配信する方式**で、開催します。異分野の技術にも課題解決のヒントが隠されているかもしれません。ご都合の良い時間にご覧ください。

【動画配信期間】

令和6年 **11月25日(月) ~ 12月10日(火)**

参加
無料

【発表内容】

(1) 産業技術センター「重点プロジェクト」等の活動事例紹介

- ①重点プロジェクト「DX推進による生産性向上」
- ②SDGs・カーボンニュートラルに向けた取組み「グリーンものづくり新技術普及事業」
- ③重点プロジェクト「フードテックを活用したフードロスの削減と食品の高付加価値化」

①【DX推進による生産性向上】	②【SDGs・カーボンニュートラル】	③【フードロス解消・フードテック活用】
<p>“見える化”を可能にするIoT機器「DXPOT」の解説と使用事例 ～スモールスタートから始めるDX～ 電子・有機素材研究所 研究員 田中 章浩</p>  <p>DXの第一歩である“見える化”を容易に体験することができるIoTプラットフォーム「DXPOT」を開発しました。このプラットフォームの使い方や活用方法・使用事例を紹介します。</p>	<p>トポロジー最適化による製品の性能向上と資源節約 ～熱処理用トレイの軽量化～ 機械素材研究所 研究員 亀崎 高志</p>  <p>焼入れなどの熱処理工程で使用されるトレイの軽量化に取組みました。軽量化の解析にトポロジー最適化を用いることで、必要な強度や剛性を維持したまま軽量化することができた事例を紹介します。</p>	<p>フードロス素材やフードテック技術を活用した食品開発 ～液体カプセル化食品の事例紹介～ 食品開発研究所 グループ長 杉本 優子</p>  <p>企業からアップサイクルの要望があったフードロス素材や、センター独自のフードテックによる新しい食品開発について、これまでの成果を報告します。成果事例として、液体カプセル化食品の動向について紹介します。</p>

(2) 各研究所の活動成果発表 ※発表内容の詳細は裏面をご覧ください

- ①電子・有機素材研究所（鳥取市）：木材・ゴム・プラスチックの評価、非接触振動計測、EMC試験
- ②機械素材研究所（米子市）：医療機器開発、水素バリア皮膜、微小金属のマイクロ組織観察
- ③食品開発研究所（境港市）：地域独自の日本酒酵母改良、未利用資源・加工残渣の活用

※申込方法は裏面をご覧ください

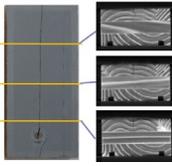
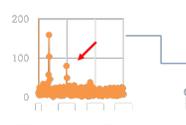
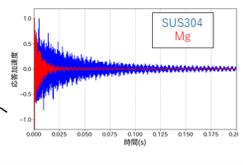
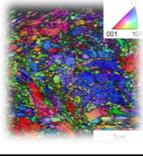
【お問い合わせ先】

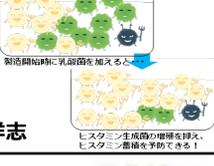
各研究所の担当者まで電話でお問い合わせ下さい。

電子・有機素材研究所（鳥取）
機械素材研究所（米子）
食品開発研究所（境港）

担当：吉田（0857-38-6200）
担当：野嶋（0859-37-1811）
担当：梅林（0859-44-6121）

各研究所の活動成果発表 プログラム

電子・有機素材研究所	塗装した直交集成板 (CLT) の耐候性評価と継時非破壊観察 ～屋外利用されるCLTの耐候性維持、メンテナンス手法検討に役立つデータを得ることができました～ 有機材料グループ グループ長 谷岡 晃和	環境配慮型有機材料研究会の活動紹介 ～プラスチック、ゴム関連企業へバイオマス複合材料による試作や製品づくりを支援します～ 有機材料グループ 上席研究員 山本 智昭	 
	製造装置の非接触振動計測技術の開発 ～重大な故障が発生する前兆を見逃さない技術を開発しました～ 電子システムグループ 上席研究員 吉田 大一郎	電磁波試験機器を活用した EMC 試験 ～電子機器が出す電磁波、受ける電磁波による影響を確認し製品の信頼性向上を支援します～ 電子システムグループ 研究員 楠本 雄裕	 
機械素材研究所	産学官連携で開発した新たな医療用嵌脱コネクタの提案 ～カテーテルの自己（事故）抜去による医療事故を未然に防止する技術を共同開発しました～ システム制御グループ グループ長 吉田 裕亮	つり下げ打撃加振法によるマグネシウムの制振性評価 ～叩いて、測って、調べる！他金属材料より優れているとされるマグネシウムの制振性を検証しました～ システム制御グループ 研究員 高濱 元史	 
	湿式表面処理によるステンレス鋼 SUS304 への水素バリア皮膜の開発 ～水素社会実現に向け、配管部材の選択肢を広げる技術を開発しました～ 機械・無機材料グループ 主任研究員 田中 俊行	電子線後方散乱回折法 (SEM-EBSD) による組織観察 ～SEM-EBSD法による金属組織評価のための微小・微細な試料作製方法を紹介します～ 機械・無機材料グループ 主任研究員 松田 知子	 

食品開発研究所	食研オープンサロンによる情報発信と技術支援について ～食品加工、機能性、衛生管理に関することが気軽に相談できます～ 副所長 寺田 直文	センター開発品の試食 魚で作ったチップス アップサイクルホウチウ	  
	鳥取県オリジナル酵母改良株の育成（泡無し酵母の開発） ～酒質を保持し、利便性の向上が期待できる新規株を獲得しました～ 発酵・機能性食品グループ 研究員 井田 昌孝	水産加工残滓を材料にした魚醤油製造技術 ～海外輸出対応（ヒスタミン非蓄積）の魚醤油製造を支援します～ 発酵・機能性食品グループ 研究員 藤光 洋志	 
	養殖方法の違いがムラサキウニの品質に与える影響 ～異なる餌で養殖したウニの成分を分析してより美味しくなる養殖方法を検討しました～ 食品加工グループ 研究員 仁木 大輔	星空舞米粉を用いたうどんの開発 ～加工が不向きな星空舞米粉うどんの試作を重ねてうどんとしての完成度を高めました～ 食品安全・品質技術グループ グループ長 中野 陽	 

【申込方法】 ※申込期限：12月6日（金）

★当センターホームページの申込フォーム
https://tiit.or.jp/3202/5450/r6_houkokukai/

★下記の申込書
 FAX：0859-37-1823
 Mail：tiit-info4@tiit.or.jp

鳥取県産業技術センター
 活動成果発表会

検索



動画視聴方法の詳細は、別途メールで連絡いたします。
 お申し込みの際はメールアドレスを必ずご記入ください。

＜申 込 書＞

企業名	
所属・役職・氏名	
電話番号	
メールアドレス（必須）	